



県議会議員  
山本友子



市議会議員  
小沢 みか



市議会議員  
森山かおる



# いちはら 市民ネットワーク通信

e-mail: i.shimin-net@muse.ocn.ne.jp  
ホームページ http://ichihara-net.com/

発行：いちはら市民ネットワーク 代表 桑田尚子  
〒290-0073 市原市国分寺台中央7-1-5 C1 ☎:0436-21-1907 Fax:0436-21-9073

## 県議・市議 今年の抱負を語る



県議会議員  
山本友子

今年は、9条を含む改憲が政治における最優先事項となりそうです。日本が軍事大国化することだけは何としても阻止したい、そのための学びの場を設けます。

県内では、昨年再生土・残土の不法投棄問題が各地で発生し、県では再生土による埋立てを厳格に規制していこうとする条例が間もなく誕生します。しかし残念ながら市原市に条例改正の動きはなく、今後規制の緩い市原に土砂処分が集中するのではないかと懸念しています。

さらに昨年末、にわか市原南部地域の病院問題が浮上しました。県立病院の今後のあり方を考えるには市民の知恵が必要です。本年もよろしくお願いします。

国政では「改憲」のきな臭い議論に火が付きそうです。千葉県では地域によっては十分な医療が受けられなくなる可能性が出てきました。そして市原市では、環境問題も福祉の課題もまだまだ対策が不十分ですが、昨年は「チバニアン」という明るい話題もありました。とにかく前へ！一歩でも前へ！  
次世代に誇れるまちづくりをめざして共に頑張りましょう！



市議会議員  
小沢みか

地方創生の名のもと、人口減少を少しでも食い止めようと、全国で様々な地域活性化策が打ち出されています。市原市も例外ではありませんが、私は取って今必要なのは「人口が減っても安心して暮らせるまちづくり」という発想だと思っています。

今年は医療・福祉・子育て・教育について議論する教育民生常任委員会に所属しています。改めて生活の基本に立ち返り、提言していく所存です。



市議会議員  
森山かおる

一期目も早や半ばが過ぎました。2人という少数会派ではあっても、自ら思うところをキッパリ発言していけば思いは伝えられるのだと感じています。

障がいのある息子を育てながらの活動は時間に制限があり想像以上に大変ですが、市民目線を忘れず少数の声を埋もれさせないような役割を果たしていきたいと思っています。



しなやかにしたたかに  
草の根の政治を

代表 桑田尚子

市民ネットワークは誕生して28年が経とうとしています。生活の中の課題を解決しよう、と女性たちが仲間から代表を議会に送り出しました。その間、4年毎の選挙で新人の女性をひとりずつ計7人出してきました。

活動の柱として「市民参加」「情報公開」「人権(個人の尊厳)」の3つを掲げました。「市民参加」とは、お任せにしない政治で市民が積極的に政治に参加し、地域のことを考えていく姿勢です。そのためには情報が必要で、それが「情報公開」です。考え方や判断は「人権」が守られているかどうかを基準にしています。

専業主婦が多かった時代から共働き世帯が主流になり社会情勢も変わりました。その時代と共に変わっていくかなければならないこと、しかし変わってはいけないもの、その2つを見極める知恵が欲しいと思っています。しなやかにしたたかに、これからも市民目線100%の草の根の政治を実践してまいります。

どうしてあなたの力をお貸し下さい。一緒に住みよい世の中を作りたいと思います。



ブログで活動を報告

## 12月市議会 代表質問

市原市は、県水道と市水道の二つの区域に分かれており、市水道は東部から南部にかけての比較的人口密度の低い地域への水道供給を担っています。市水道事業の深刻な経営状況について、他自治体との比較グラフを使いながら追求しました。



市原市議会議員

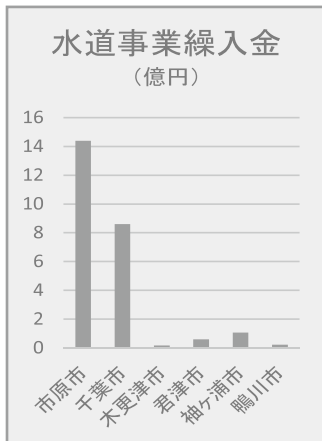
## 小沢 みか

### 市原市の水道事業に未来はあるのか

#### 市原市水道事業の危うさ

蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水道は重要なライフラインですが、市の水道事業は大きな経営上の問題を抱えています。

供給する水を作るコストは他市の倍以上かかっているのに、水道料金は県水道料金に合わせた低く抑えているため、不足分は私たちの税金で補っているのです。その額は毎年約14億円！これは年間の小中学校の予算とほぼ同じ規模になります。これまでの補てんは、県内を見渡してもありません。



#### なぜこれほど

#### 補てん額が大きいのか？

これまでは市の給水区域に当たる地域の人口密度が低いことを理由にしてきましたが、実は、これまで高滝ダムを水源とする浄水場への過去の過剰投資が重くのしかかっているからだ、ということがわかってきました。今後市の給水地域の人口は益々減っていくので、そのこ

とを言い訳にしていたのでは、補てんする額が膨らむばかりで、市の財政破綻の原因にもなりかねません。手をこまねいていては手遅れになる

#### 手遅れになる

国や県は、今後の給水人口減少を見据え、県水道や他団体との統合や経営の効率化など、抜本的な対策を求めています。

市原市水道も、経営危機を過去の負の遺産や人口減少のせいにならず、将来を見据えて、県や周りの自治体との協議や経営改革に、本腰を入れて取り組まなければなりません。

### 「有収率」改ざん問題

昨年11月、市原市水道事業が40年以上にわたって有収率のデータを改ざんしていたことが判明、新聞で報道されました。

有収率とは、浄水場から配水した水量のうち、蛇口に届いて料金が発生した水量の割合です。有収率が高いほど効率良く給水されているということなのですが、市原市はその値を改ざんして効率よく給水しているかのように見せかけてきたのです。

大企業の不正やデータ改ざんが相次ぎ問題になっていますが、公営企業には市民の税金が投入されています。信用失墜行為の重大性は、民間の比ではありません。一刻も早い原因と対策の公表を厳しく求めました。

## 12月市議会 個別質問



ブログで活動を報告

「介護は家族が担うもの」そんな風潮がまだまだ強いのではないのでしょうか。医療的ケアが必要でどんなに手がかかっても、我が子と暮らしたいという思いで頑張っている親が倒れてしまわないための支援が必要です。



市原市議会議員

## 森山 かおる

休息を取るために短期入所を希望しても、医療的ケアに対応できる施設が少ないために預けることもできないのです。また常時目が離せないために、医療的ケア児の兄

### 医療的ケア児者と家族への支援を



経管栄養と気管支切開

#### 家族の厳しい現状

医療技術の進歩により家庭でも経管栄養、導尿、痰の吸引などの医療的ケアが行えるようになり、人工呼吸器をつけた障がい児者が在宅で暮らせるまでになりました。しかし、その生活実態は非常に厳しいものです。

複数のケアが必要な場合は、数時間ごとの経管栄養や導尿、痰が溜まればその都度吸引、褥瘡(床ずれ)を防ぐための体位変換は夜中でも3時間おきに行うなど、介護者は休む間もありません。

#### 実態調査が必要

市は「いちほら障がい者福祉共生プラン」を策定中ですが、これまで医療的ケアに関する実態調査を行っていません。千葉市では、介護者の年齢や休息の状況、短期入所の利用状況などの調査を行っています。

このような実態調査を行い、浮かび上がる厳しい現状を把握したうえで、医療的ケア児者と家族への支援策を整備するよう求めました。

#### 障がい児と健常児が共に学ぶ「インクルーシブ教育」

インクルーシブ教育とは障がいのあるなしに関わらず子どもが共に学び仕組めます。

市では障がいのある児童生徒のために支援補助員を配置していますが、その数が足りないために通常学級に行けず、健常児と共に学ぶ機会が奪われている問題を取り上げました。これは健常児が障がいを理解する機会を失ったということにもなります。

大災害の度に、避難所で周りの理解が得られず車中で宿泊せざるを得なかった障がい児者がいたことが報道されてきましたが、共に過ごす経験がなければ理解には至りません。インクルーシブ教育は共生社会の実現を目指すものです。共に学び合うために、人的確保が必要だと要望しました。



# 山本友子

## 12月県議会



ブログで活動を報告しています「てくてくとこ」

12月議会で地域医療、鶴舞の循環器病センターの課題、県リハビリテーションセンターにおける小児リハビリ体制の強化、再生土、夜間定時制高校の給食問題などについて質問しました。

### 住み慣れた場所で最期まで！

#### 市原の地域医療を考える

鶴舞の千葉県循環器病センターで医師流出問題が持ち上がりました。循環器病センターは三次救急医療機関である帝京医療センターの補完的役割も担っています。しかし専門医療分野が抜ければ、南市原で医療崩壊が起こるのではないかと危惧感が地域で広がっています。

市原は今後、高齢化・少子化が進みます。病院でなく自宅で最期を迎えたいという方は今後増加しますが、急性期を脱した患者さんのための回復期病床と慢性期病床は、6年後の2025年になっても必要ベッド数の半分しか確保できないと予想されています。

また訪問診療を担える医師が不足しているというデータも出ています。

行政と病院・診療所・訪問看護ステーション・訪問介護などの関係団体の連携が不可欠であり、訪問看護師・訪問介護士（ヘルパー）の確保は市原の大きな課題です。

在宅ケア講演会（14日、大岩孝司医師）でさくさく坂通り診療所から「ガンになっても最期まで家で暮らすために必要な事」というテーマでお話を聞きました。一口に在宅医療といっても、ガンは末期の症状が予測しやすいので在宅でコントロールしやすいとい



◇リハビリテーションセンターとは？  
千葉市誉田にある県立千葉リハビリテーションセンターでは、脳血管、脳外科、脊髄損傷、リウマチなどの患者さんに対して治療・診断・リハビリ訓練などを行い、高次脳機能障害者の支援や短期入所も行っています。

◇小児リハビリとショートステイを拡充して  
昭和56年に建設された同



千葉リハビリテーションセンター（千葉市誉田）



がん患者は最後の数週間で急速に身体機能が低下することを踏まえた対応が必要であると解説。

う話を聞き、目から鱗の衝撃を受けました。実践的、具体的に、独り暮らしであっても安心して住み慣れた場所で最期まで暮らせるよう、これからも皆様と共に知恵と力を出し合いたいと思います。

あれからどうなった？  
市民活動センター

1年前の3月、市民活動センター（五井）が閉鎖され途方に暮れ、解散に追い込まれた団体も出てきました。

市では、市民活動支援の再構築を検討中ですが、今も方針決定には至っていません。市民活動の分類・分析の基準に不十分な点があったので調査そのものがまだできていないのだそうです。それでも4月からは市民活動費の補助などは一部事業化するとの予定ですが、場所は相変わらず未定です。今更ながら、決まった場所が必要なのかどうかの議論さえあるそうです。「日暮れて、道遠し」市原の市民活動は今後どこへ向かうのでしょうか？

### 県立リハビリテーションセンター建て替えでは小児リハビリ部門をもっと拡充して！

センターは老朽化し、また時代の要請に添えて次々新たな施設を造ってきたため手狭になっています。そこで今後5年以内に建替えに着手することが決まりました。建て替えに当たっては、今や手狭になってしまった小児リハビリのスペースを十分確保し、愛育園のショートステイの病床をもっと増やすよう要望。さらにきめ細かな支援ができる専門職員の増員を求めました。

## 市民ネットのお知らせ

(月～金10:00～17:00)

連絡先 21-1907

市民ネット事務所で開催しています。

### ■学習会「改憲について」 講師:齋藤和夫

4月6日(金) 13:30～

憲法9条をどう変えようとしているのか? 北朝鮮のミサイル防衛対策は? 9条を変えたら軍隊ができてしまうのか? など憲法の先生に聞きたいことが一杯。

### ●暮らしなんでも相談 議員が対応いたします

毎月 第4月曜日 10:00～16:30

・予約も受け付けています。

次回予定 2月26日 3月26日 4月23日

### ●折り紙教室「折り紙名人」 福田進一氏

毎月 第4火曜日 13:00～15:00

次回予定 2月27日 3月27日 4月24日

参加費 100円(震災復興支援に募金)

### ●おしゃべり介護喫茶

毎月 第4金曜日 13:30 オープン

店主 喜多 庸子さん(介護歴20年)

次回予定 2月23日 3月23日 4月27日

### ●アートギャラリー

2月 つるしびな展

米元 志慶子

3月 押し花絵展

田部井 順子

4月 油彩展

神山 節子

### あなたの作品を展示しませんか

会場の使用料は無料です。作品展・サークルの発表会などにご利用ください。

期間は1か月 月曜～金曜(土・日・祝日休館)

閲覧時間 10:00～16:30

委託販売できます。

## チバニアン 見学記



市原市田淵にある地磁気逆転地層「チバニアン」の見学に行きました。平日の午後でしたが多くの人々が来ていました。川辺に降りる道は自然の中で急な傾斜もあり滑りやすく手すりがないので、流水や雨風の影響で周りの木々が傾いて少し危ない印象でした。逆転地層の説明書は駐車場わきの案内板近くの箱に入っていましたが、よく見ないと気づきません。現地ではQRコードが貼られており、スマホで説明を聞くことができます。しかし説明する人が現地に来てくれたら、見学者が逆転地層についてもっと深く知ることができるのではと感じました。

スマホで説明を聞きながら地層を眺めると、壮大な地球の歴史を感じる貴重な時間になります。子どもたちにもぜひ見てほしいと思います。

光風台 Kさん



## 県循環器病センター 存続の危機に声をあげよう

前回の通信1面でお知らせした県循環器病センターの危機について、大きな動きがありました。同センター

の高度医療部門を、千葉市に計画中の(仮称)総合救急災害医療センターに移す考えを、県が示したのです。

寝耳に水の話に、市南部の住民が抗議の声を上げ、市内全域で署名運動を展開しています。市の基幹病院の一角が崩れれば、他病院にも負担が掛かり共倒れにもなり兼ねません。今後も地域の医療を守るべく、行政・議会・市民が一丸となって粘り強く県に訴える必要があります。

市原市議会議員 小沢みか

## 山本友子一般質問 県議会の傍聴に 行ってきました

### ●質問に大きな拍手 若宮 Yさん

持ち時間は60分です。準備した質問原稿を勢いよく読み終えると残りは8分。再質問、再々質問にどう答弁が返ってくるか緊張が高まります。はぐらかそうとする答弁にも、めげない、あきらめない、言いたいことは言う、という姿勢に毎回心で大きな拍手。

### ●県議会の曖昧な応答 青葉台 Kさん

初めて県議会の傍聴しました。セキュリティチェック後傍聴席へ。知事の个性的口調のあいさつは意外でした。知事の曖昧な答弁は、テレビで見たことがあるような? 昼休みには 年1回のロビーコンサートを聴けたのはラッキーでした。

### ●満足できる答弁がなかった 大塚 Mさん

行政の答弁には、未来を担う子どもたちへの視点が欠けていると感じました。県ももっと市町村と繋がりながら仕事をしてほしいと思いました。



## ◇防災庁舎

もうひとひねりしていたらなあ～

(泉台 Sさん)



昨年の夏、建設中の防災庁舎の見学会に参加した。建物のスペース

の広さを実感し、地下の防振装置や屋上も見ることができた。2月から共用を開始するとの事。

昨年の秋、防災庁舎を建てながら、一方では現庁舎の改築工事の話も聞こえてきた。「また金をかけるのかよ」。6階建てにしておけば問題はすべて解決していたのと思う。

会社で計画書を何度も何度も知恵を出せと差し戻されたのを懐かしく思い出してしまった。

☆市民のツイート募集中、  
あなたのつぶやきお待ちしております。

## いちほら市民ネットワークの活動は…

1. ネットの議員は、企業・団体とのしがらみがないので、きっぱり大胆に発言できます。
2. 議員報酬の多くを市民ネットの活動費に。
3. 一人ひとりの声を大切にして市民参加の政治をつくります。

## 市民ネットワークの会員募集

年会費 2,000円

会費振込先 いちほら市民ネットワーク

郵便振込口座 00130-3-575259

ゆうちょ銀行 店番058 普 2941343